

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

1. 学校概要

学校名 金沢市立小坂小学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫教育
☐ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☐ 高等学校
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ()

所在地 〒920-0811
石川県金沢市小坂町中 142

E-mail kosaka-e@kanazawa-city.ed.jp

Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp/kosaka-e/

児童生徒数 男子 359 名 女子 317 名 合計 676 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☒ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☒ 平和・人権
- ☒ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☐ 防災
- ☐ 食育
- ☒ 伝統文化
- ☐ そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

① 1年生「むかしあそびをたのしもう」

地域のお年寄りの方々14名をゲストティーチャーとしてお迎えし、伝承遊びを体験した。あやとり、お手玉、こま、けん玉、めんこ、おはじきの6つのグループを設定し、その内1つを体験した。地域の方々から遊びのルールやコツを教えてもらい、繰り返しやっているうちに、多くの児童は、遊びに慣れてきてだんだんできるようになった。また、周りにいる友達とも自然に声を掛け合いつながり合って、遊びの輪が広がった。学習後、国語科の学習と絡めて伝承遊びを教えてくださいました方々にお礼の手紙を書き、感謝の気持ちを伝えた。後日、地域の方々から温かい電話や手紙をいただき、児童も嬉しそうであった。この学習を通して、児童は伝承遊びに親しみ友達と楽しく遊ぶことができた。そして、地域の方々と交流することで人の優しさに触れ、地域に愛着を持つきっかけとなった。



② 2年生「まちを たんけん 大はっけん」

1学期は、自分たちの地域のある場所に興味を持ち、公園や神社などを町探検した。児童は其中で多くの地域の人々と出会い、地域の人々やその人たちが働いている施設にも興味を示した。そこで、2学期の町探検では〈公共施設に行き、そこで働く地域の人々にインタビューをしてもっと自分達の町を知ろう〉という課題を設定し、二度目の町探検を行った。ある子どもたちは小坂公民館に出向き、そこで働いている地域の人々にインタビューをした。地域の方々とふれあい、体験活動を通して、公共施設はみんなが使い、役立っていること、そしてそれらを支えている人々がいることに気づくことが出来た。



これらの学習を通して、児童は自分たちの生活が地域の人々や場所と深く関わっていることに気づき、地域に親しみや愛着を持って進んで交流することが出来るようになった。

③ 3年生 「めざせ！和菓子はかせ！」

金沢市は和菓子の消費量が日本一である。また小坂校区にも多くの和菓子屋がある。これらの事実から〈どうして金沢市では和菓子づくりがさかんのかな〉という課題を持ち調べた。和菓子職人をゲストティーチャーとしてお呼びし、和菓子作りを体験した。職人さんの技を見て真似しながら和菓子をつくることで、和菓子作りの楽しさや難しさ、そして職人さんの高い技術を肌で学ぶことができた。また社会科の学習と関連させて学習を行った。学習では、きんつばの「中田屋」さんを取り上げ、工場見学をすることできんつばの作り方や材料、職人さんの技など和菓子についての知識を深めることができた。これらの学習を通して、児童は地域には素晴らしい文化があることを実感することができた。また職人さんや和菓子に関わることで、愛情と誇りをもつことができた。



④ 4年生「金沢じまんの伝統工芸」

金沢市には、金箔箔や加賀水引・加賀友禅など、職人の技が光る伝統工芸品が古くから作られている。金沢の宝とも言えるこれらの伝統工芸品について知ることは、これからの金沢を担う子ども達にとって大変重要なことである。そこで〈金沢に伝わる伝統工芸品にはどんなものがあるのかな〉の課題を設定し、伝統工芸品について調べてまとめ、クラスの友達と交流する活動を計画した。

まず華やか金沢をもとに、金箔箔、加賀毛針、金沢仏壇などの中から調べたいテーマを決めた。次に華やか金沢や図書資料、インターネットを用いて調べ、新聞にまとめた。

しかしそれだけでは伝統工芸品がどんなものかということしかわからない。そこで、職人の技や心意気を感じられるように、加賀友禅作家で“加賀友禅十人衆”の筆頭である中町博志氏をゲストティーチャーとしてお招きした。中町さんのお話から、職人としてのこだわりや、作品にかける思いを教えてくださいました。美しい加賀友禅に着物を見せて頂いたりして、子ども達は伝統工芸品やそれに携わる職人のすばらしさを実感



することができた。

⑤ 5年生「加賀野菜を収穫し・味わおう」

金沢には加賀野菜と呼ばれる伝統的な野菜がある。多くの種類があるなかから数種類の加賀野菜を育て、収穫、そして、調理まで行った。まずはじめに、加賀野菜の育て方や有名な地域を調べた。加賀レンコンの学習では、小坂地区の特産物であることから、地域のレンコンを生産している方にゲストティーチャーとして呼び、レンコンの特徴、植え方から収穫の仕方まで丁寧に教えていただいた。実際にレンコン田に入っの体験を通して、生産物への愛着だけでなく、育てることの大変さや工夫を学ぶことができた。最後に、自ら育て収穫した加賀レンコンを使い、レンコンチップスを作り、おいしく味わって食べて、学習を終えた。



⑥ 6年生「小坂地区～卯辰山までの歴史探検」をしよう！

金沢は、歴史都市第1号に選ばれるなど、歴史的な町並みや建造物が数多く残り、前田利家など、歴史上の人物とゆかりが深い都市でもある。そのような事実から、＜小坂地区～金沢城までには、どんな歴史が残っているか＞という課題を持ち、調べた。金沢市役所が作成した東山寺院群「心の道」パンフレットや兼六園のパンフレット、インターネットを使って調べ、実際に探検に行くことで理解を深めた。また、兼六園、金沢城の探検では、観光ボランティアガイドの「まいどさん」をゲストティーチャーとして招き、城や人々を守るための工夫、兼六園にある建造物について詳しく知ることができた。



これらの学習を通して、児童は金沢の歴史について深く知ることができたと同時に、地域の素晴らしさと愛着を持つことができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- ☐ 時間外活動の時間を使用
- ☐ ユネスコクラブの活動として実施
- ☐ その他（

）